

第4回 Final Meeting



テーマ

田辺らしい新庁舎について考えてみよう

日時 / 場所

2018年5月19日(土) 13:00 - 16:00

市役所本庁舎3階第1会議室

プログラム

13:00

PROGRAM 1/2

開 会 / あいさつ

13:05

PROGRAM 3/4

第1回から第3回の振り返り / 作業説明

13:20

PROGRAM 5

グループ別ワークショップ / 発表

作業テーマ1: 印象に残っている意見は何ですか?

作業テーマ2: 前回作業「新庁舎に対する施設要望」について総括してみよう

作業テーマ3: 新庁舎整備で「大切にしたいこと」・「大切にしたい思い」について表現してみよう

作業テーマ4: 「田辺らしい新庁舎とは!」について考えよう

15:40

PROGRAM 6

振り返りシートの作成

15:50

PROGRAM 7

閉会の挨拶

15:55

PROGRAM 8

記念写真撮影

第4回 Final Meeting

最終回となる第4回市民ワークショップでは、今まで出してきたアイデアや行った作業を振り返りながら総括していただくとともに、作業集大成として、考えや思いの整理、最終的に「田辺らしい新庁舎」を表現するためのアイデアをまとめる作業をしていただきました。

1つ目の課題として

印象に残っている意見は何ですか？

2つ目の課題として

前回作業「新庁舎に対する施設要望」について総括してみよう

というテーマについて作業をしていただきました。

PROGRAM 5 ワークショップ テーマ1

テーマ1：印象に残っている意見は何ですか？

作業の様子

皆さんに過去の作業や他班の意見などを思いだしていただきながら作業をしていただきました。

各自の思いや班での議論の中心テーマに特色があったので、それがこの作業結果によく現れていたようです。



PROGRAM 5 ワークショップ テーマ2

テーマ2：前回作業「新庁舎に対する施設要望」について総括してみよう

各班からの要望

作業の結果、各班からは以下の要望をまとめていただきました

1班

- 市庁舎を情報拠点に
- 食事・サービス・子育て世代や子供スペース
- これまでの殻を破った施設
- プライバシーを守る工夫
- まちの活性化に寄与する施設
- シンボリックな外観とひかり輝く庁舎

2班

- 利便性
- ゆとりのある
- 市民
- 官民交流
- 明るい
- 防災

3班

- ワンストップ
- 入口に近い駐車場
- すどしやすさ
- 物産・地元の魅力発信
- 災害への啓発コーナー
- 交流

4班

- 有効利用
- 交流機能
- 庁舎の新しい使い方

**新庁舎整備で「大切にしたいこと」・「大切にしたい思い」
について表現してみよう**

というテーマについて作業をしていただきました。

前半の振り返り作業で、今までに出てきた意見やアイデアを再整理していただいた上で、自分達が伝えたい新庁舎への思いをことばにしてくださいました。皆さんの思いのこめられた設計・建物にするためにいろいろな言葉を残していただきました。

第4回

Final Meeting

PROGRAM 5
ワークショップ
テーマ3

テーマ3の作業成果

発表のようすと言葉

皆さんからさまざまな“思い”のこもった言葉が発表されました。

1 班

- ・あなたが未来をつくる
- ・日本一の子育てしやすいまち
- ・福祉のまち、福祉の担い手
- ・事例が無い
- ・きれいなだけではだめ
- ・100年もつ庁舎 ・観光のまちとしての取り組み



2 班

- ・田辺のプライドを見せて欲しい
- ・田辺で最も安全で安心な場所 ・耐震 ・倒れない
- ・市民活動の拠点 ・エコ
- ・新庁舎建設が田辺市の発展のチャンスとなるような建設（防災）
- ・ゆるい（しかけ）
- ・アクセスしやすいようにしてほしい ・便利な

3 班

- ・市民の視点に立った庁舎づくり
- ・人と人とのふれあい と プライバシーの確保
- ・ふるさととして心に残るように ・利便性
- ・おもてなし ・子供に優しいまち
- ・障害がある方、高齢者にもやさしい
- ・市がしていること、市民がしていることがわかりやすい



4 班

- ・つなぐ “ 紡ぐ ” 庁舎。地域を紡ぐ、人を紡ぐ、歴史を紡ぐ
未来に、次世代につながるような庁舎
今までの歴史や文化を繋いでいきたい
- ・有効利用 “ 使い切る ” 効率の良い庁舎
- ・地 域 性 “ 木材の使用 ” を！



「田辺らしい新庁舎とは！」について考えてみよう

というテーマについて作業をしていただきました。

今までの作業集大成となるこの課題では、皆さんの思いを詰め込んだ「田辺らしい新庁舎」について意見をまとめていただきました。これらの思いがやがて新庁舎の設計へ、そして建設工事へつながっていき、近い将来「建物という形」となって皆さんの前にお目見えします。建物は、ある意味「器」に過ぎません。皆さんの今の思いと共に利用・活用されることで初めて意味のある「空間」になるのです。

第4回

Final Meeting

PROGRAM 5 ワークショップ テーマ4

ワークショップのようす

発表のようすと言葉

1 班

- ・新庁舎を市民の灯台に
(市民の心の拠所、ランドマークとしての庁舎)



2 班

- ・100年誇れる“あがらの庁舎”
(市民が誇りをもてる 先人や次世代にも誇れる庁舎)



3 班

- ・TANABE ~ Tourism (観光)、Agriculture (農業)
Nature (自然)、Anzen (安全)、
Benri (便利)、Eetokoro (ええところ)
(市民が集える安心拠点 魅力を発信する庁舎)



4 班

- ・庁舎の概念にとらわれない“CITY HALL”
(執務機能と市民交流機能が時間と共に変化する庁舎)
(コミュニティリビングというコンセプトの人が集まり
もてなす空間)



第4回 Final Meeting

あとがき

参加者のみなさん、長期間にわたり市民ワークショップにご出席いただき、まことにありがとうございました。いま、振り返って見ますと逆に「もう終わり？」という感じもあり、時間経過の早さに、今回のワークショップの充実度を感じています。

この4回のワークショップでいただいたアイデア・ご意見などは、今後の設計及び建設において、その実現性及び具体的な方法について検討していくことを予定しております。

また、今回のワークショップでは、市民と行政の共同作業という意味においても、大変有意義な機会になったと感じています。

新庁舎建設に向けた事業は、これから設計、建設工事と大きな段階を迎えます。どうぞ、今後もわたしたちとともにこの一大事業を成功に導けるよう、ご協力をお願いいたします。

< 田辺市新庁舎整備室 >